

基礎講座 弥生時代

寒川 史也

1. 弥生時代のはじまり

近年になって、放射性炭素年代法などを用いた年代測定の成果により、弥生時代の年代観に対する議論が大きく取り上げられます。最初にそれらの経緯を整理し、弥生時代のはじまりに関して考えてみたいと思います。「弥生時代はいつからなのか？」と問いかけには、第一に何をもちいて弥生文化の開始と判断するのか、次に列島における水稲農耕のスタートの年代は実際どれほどなのか、といった2つの大きな問題がかくされています。

2. 前期から後期までの弥生社会〈旭川下流域の場合〉

旭川西岸の半田山丘陵のふもと、その南に位置する津島遺跡やその周辺遺跡では、弥生時代前期の水田遺構が検出されています。また、中期に入る頃には、拠点的な集落として南方遺跡が形成されます。石器・木製品・玉などの各種手工業生産、他地域からの土器の出土など、その多彩な内容に目をうばわれますが、低地への進出に成功した弥生集落の姿を映し出しています。後期になっては旭川の東岸で、規模の大きい集落が引き続き営まれた百間川遺跡群の存在が注目され、金属器である鉄器の出土量も増加します。

3. 遺構としての竪穴建物と掘立柱建物

集落遺跡を構成する建物の遺構として、主に竪穴建物や掘立柱建物などを挙げることができます。竪穴建物は居住を目的とするものとして考えるに難くはありませんが、掘立柱建物はさらに平地建物や高床建物に分けることができ、平面形からこれらを分離することは困難となっています。そこで同じ遺跡内の竪穴建物と掘立柱建物において規模等を比較してみると、面積のうえで掘立柱建物は竪穴建物のそれを下回っていることが大半で、居住に適しているとは言い難い状況です。よって、もっぱらは倉庫などの用途で使用され、それ以外で、竪穴建物に面積が近似する掘立柱建物は、住居として機能したものの中には存在したと考えられます。また、大きく上回るものに関しては、別に大型建物として特別な性格が付与されたことが予想されるのです。

4. 弥生時代のおわり

3世紀も半ば頃、現在の奈良県の箸墓古墳の築造を起点とし、各地で定型化した前方後円墳が分布するようになり、古墳時代に入るとされます。弥生墳丘墓から前方後円墳への変遷は、墳丘の規模を含めて、要素ごとにみた変化の内容に数々の「飛躍」がみとめられます。例えば、埋葬施設である竪穴式石槨も古墳時代になり長大なものが出現しますが、従来より指摘されているように、構築方法の面で墳丘墓と古墳の間には大きな差があります。これは、埋葬儀礼の中身自体に刷新があったものと考えられるわけで、重要な視点の一つとなっています。

〈参考文献〉

2011 藤尾慎一郎 『<新>弥生時代』 吉川弘文館

歴年代	①	②	中国
BC	縄文時代	縄文時代	
1000			
900	弥生時代		西周
800	早期		
700			
600	前期		春秋
500			
400		早期	
300		前期	戦国
200	中期		秦
100		中期	前漢
0			新
100	後期	後期	後漢
200	終末期	終末期	
300	古墳時代	古墳時代	魏・呉・蜀
AD			

表 1 関連年表

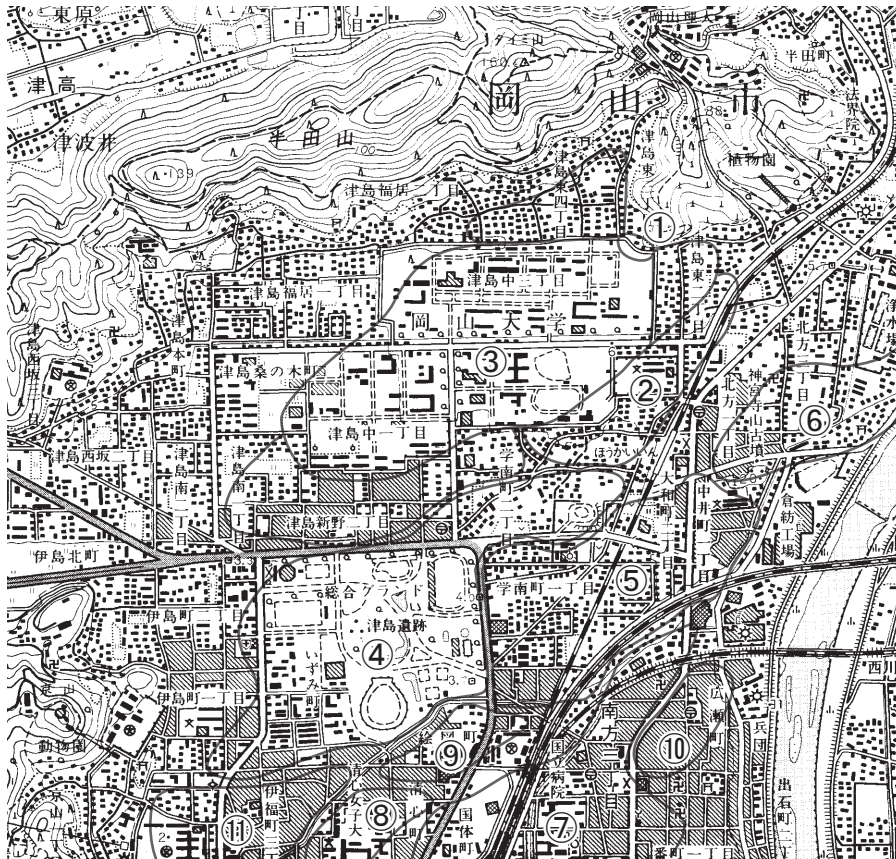


図 1 旭川西岸の遺跡分布

1. 朝寝鼻貝塚 2. 津島江道遺跡 3. 津島岡大遺跡 4. 津島遺跡 5. 北方上沼遺跡・北方横田遺跡・北方中溝遺跡・北方地蔵遺跡・北方藪ノ内遺跡 6. 北方長田遺跡 7. 南方遺跡 8. 上伊福遺跡 9. 絵図遺跡 10. 広瀬遺跡 11. 伊福定国前遺跡



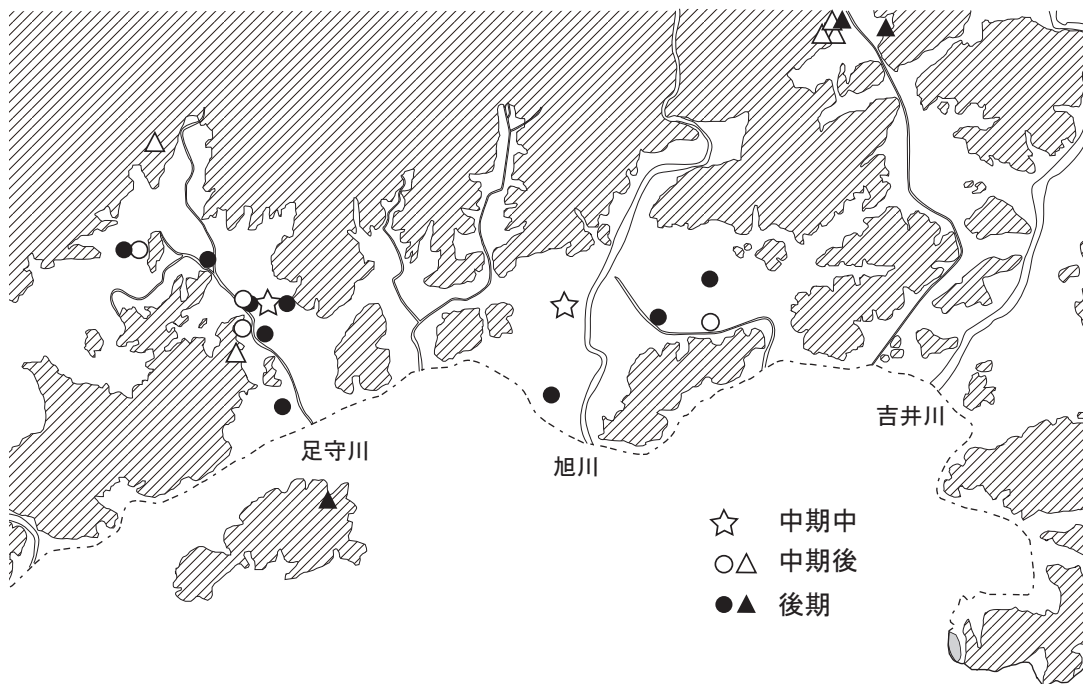


図2 岡山県南部の弥生遺跡

[竪穴建物 10 棟以上の事例]

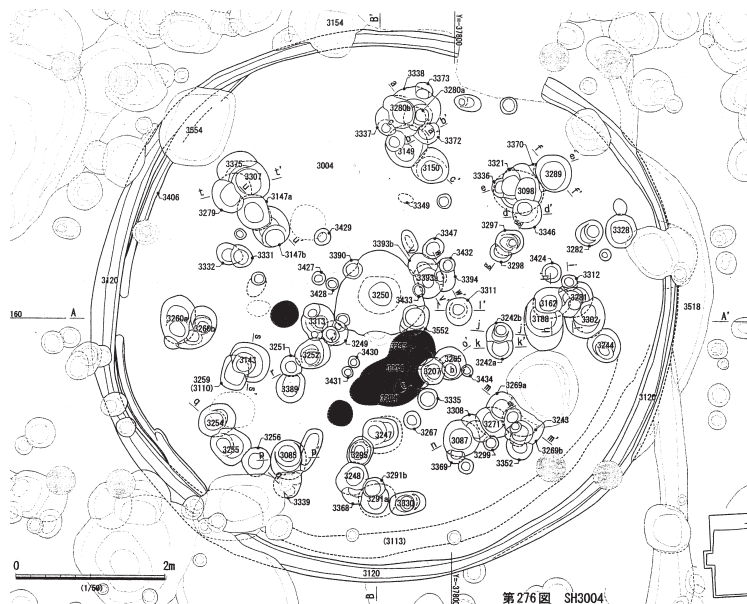
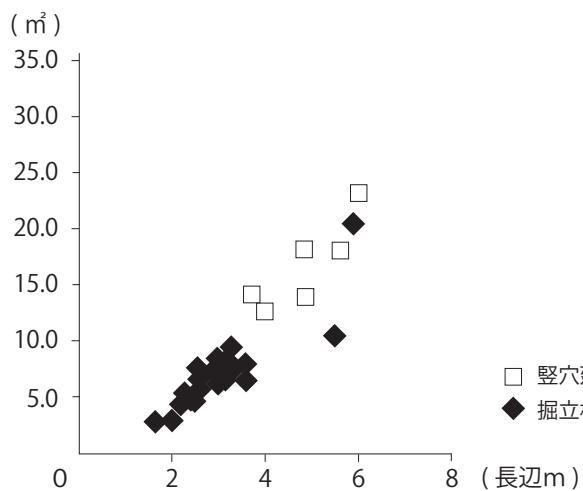
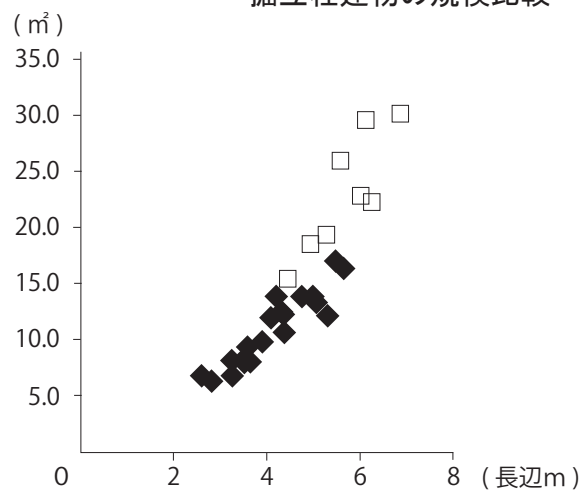


図3 南方遺跡における
大型竪穴建物

図4 同一遺跡内の竪穴建物と
掘立柱建物の規模比較



清水谷遺跡 (前期)



百間川兼基遺跡 (中期後葉)



図5 清水谷遺跡における前期環濠集落

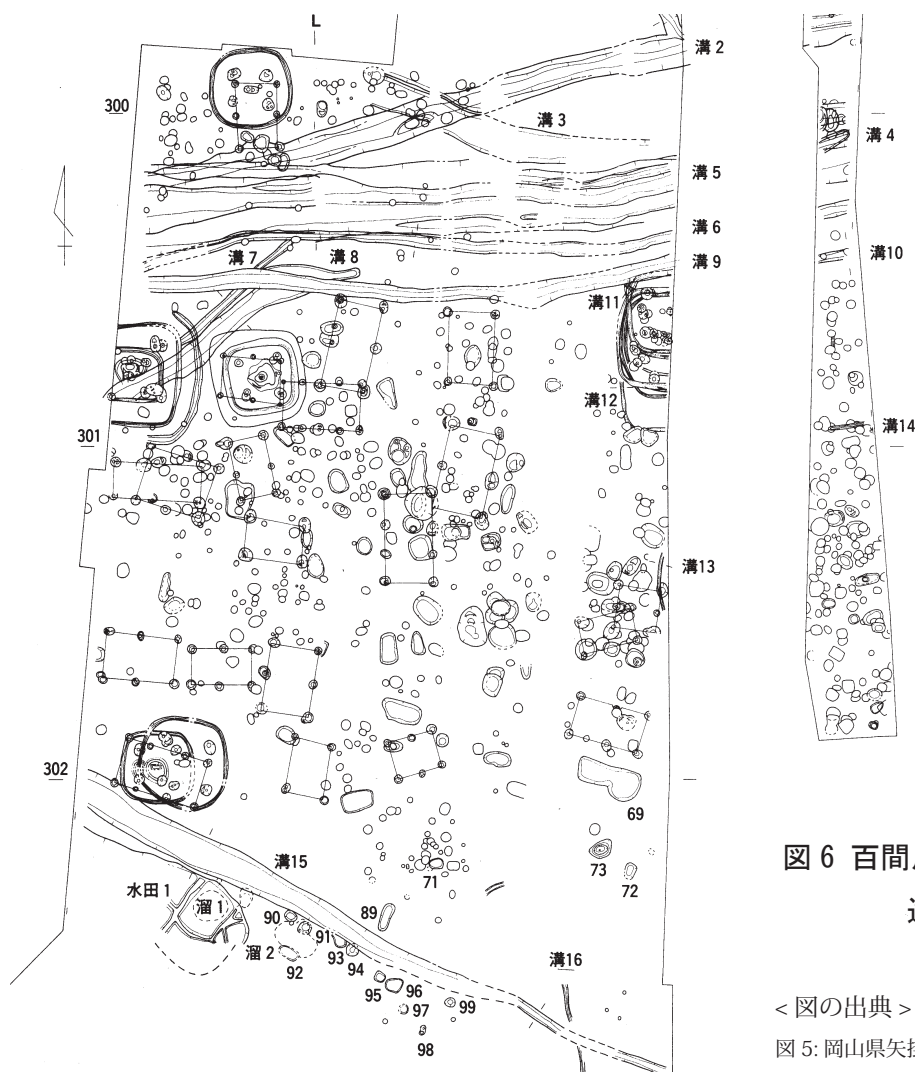
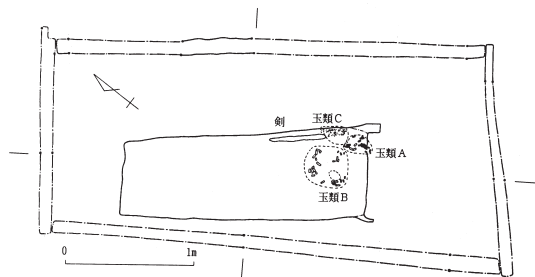


図6 百間川兼基遺跡における遺構の配置

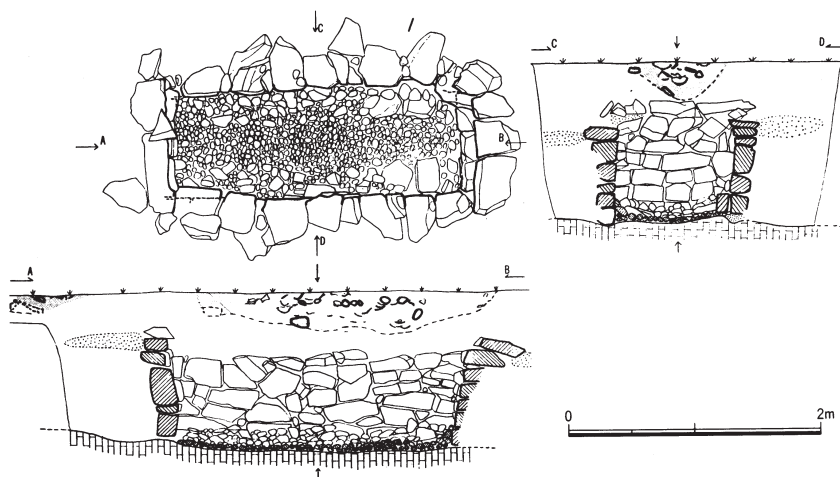
< 図の出典 >

図5: 岡山県矢掛町教育委員会 2001『清水谷遺跡』

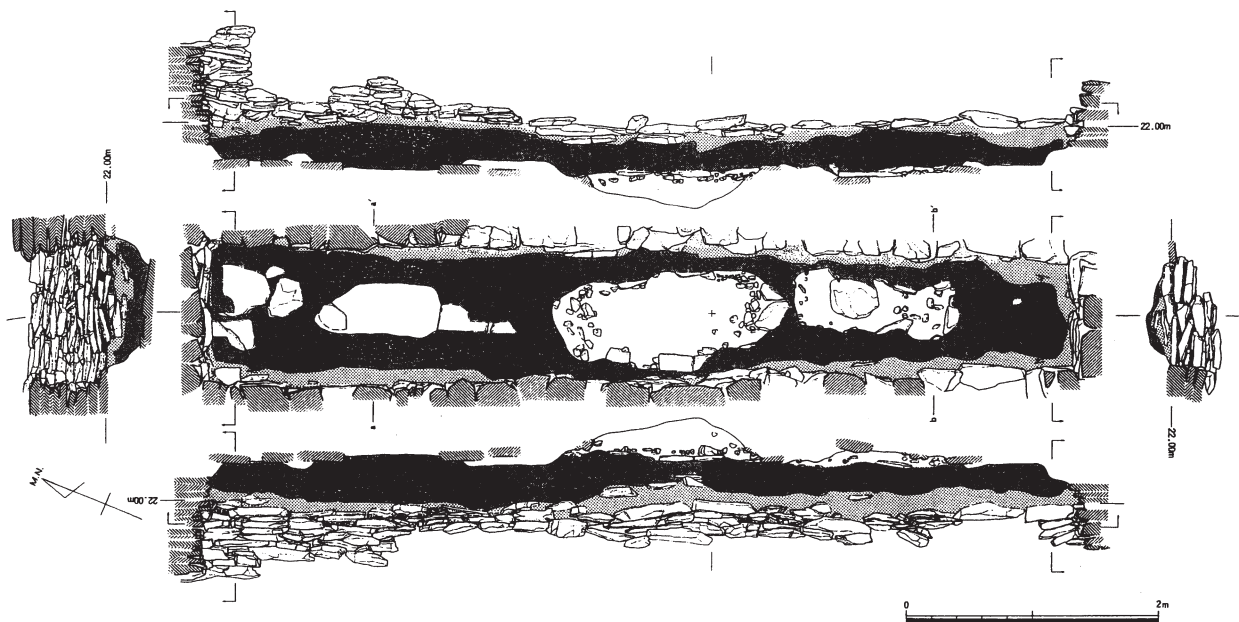
図6: 岡山県教育委員会 2007『百間川兼基遺跡 4』



楯築弥生墳丘墓（木槨）



黒宮大塚弥生墳丘墓
（竪穴式石槨）



浦間茶臼山古墳（竪穴式石槨）

図 7 墳丘墓から古墳へ [埋葬施設のうつりかわり]

< 図の出典 >

倉敷考古館 1977 「岡山県真備町黒宮大塚古墳」『倉敷考古館研究集報』第 13 号 近藤義郎 編 1992 『楯築弥生墳丘墓の研究』楯築刊行会 浦間茶臼山古墳発掘調査団 1991 『浦間茶臼山古墳』真陽社